

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 膵癌に対する術前治療の安全性に関する評価研究 』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、膵癌治療において、膵癌手術(膵頭十二指腸切除術、尾側膵切除術、膵全摘術)の前に行う化学療法±放射線治療(術前治療)の安全性を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の膵癌治療において術前治療数の増加に寄与し、膵癌予後の改善に寄与することを期待しています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2015年4月～2020年6月までに東邦大学医療センター大橋病院において、膵癌に対して手術が施行された患者さん36例を対象としています。

方 法: 診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

主要評価項目:周術期の安全性の評価

副次評価項目:①術前治療期間中の安全性の評価、②予後解析

・患者因子:年齢、性別、併存疾患、BMI、進行度、組織型、など

・術前治療因子:化学療法レジメン、投与量、投与期間、副作用発生状況、

放射線治療の有無、放射線量、転移発生状況

・周術期因子:手術時間、出血量、術後在院期間、経口摂取開始時期、術後合併症、術死

・予後解析:生存期間、晩期合併症、転移・再発の有無、発生形式(観察期間は術後3年とする)

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

また、本研究の対象者に術後に死亡した患者さん、認知機能が低下した患者さんに関しては代諾者(家族の方)からの参加拒否に関しても受け入れております。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176